

# JBAのABS支援活動

平成24年11月29日

はじめてい  
やーさい

生物多様性条約・ABS説明会 in沖繩

「生物多様性条約のアクセスと利益配分  
～名古屋議定書とその実施を巡って～」

一般財団法人 バイオインダストリー協会  
生物資源総合研究所  
野崎 恵子

# バイオインダストリー協会 (JBA)

Japan Bioindustry Association

## ■ 歴史

1942年 酒精協会として創立

1987年 (財)バイオインダストリー協会に名称変更

2011年 一般財団法人に移行

## ■ 活動内容 (www.jba.or.jp)

10月末  
リニューアル!

1. 政策提言・政策対話

2. 先端バイオ情報提供 (シーズ発掘、産業化、年間セミナー40回)

3. オープンイノベーションの推進 (BioJapan、ベンチャー支援等)

4. 国際ネットワーク (アジア連携等)

5. バイオインダストリー発展の基盤整備

(遺伝資源、カルタヘナ法、知的財産、人材育成、等)

6. 研究奨励 (バイオインダストリー協会賞等)

# JBA/ABS活動(1)

- 1991 「アジア諸国における研究開発基盤形成に関する基礎調査(熱帯地域と生物多様性の保全に関する基礎調査)」  
(通商産業省)
- 1993-1995「熱帯生物機能の利用技術」(NEDO)
- 1993-1999「生物多様性の保全と持続可能な利用等に関する研究協力」(ODA)  
共同研究開始 タイ(1993),インドネシア(1994),マレーシア(1995)
- 1995 生物多様性条約に初参加(COP2)
- 1998 生物資源総合研究所設立
- 1999 「遺伝資源アクセスガイドブック」発行(手引前身)
- 2001 製品評価技術基盤機構の中に、BRC設置
- 2002 「環境対応技術開発等(生物多様性条約に基づく遺伝資源アクセス促進事業)」(経済産業省)～現在

# JBA/ABS活動(2)

## ■ ABS情報提供

- ・説明会開催
- ・専用WEBサイト ([www.mabs.jp](http://www.mabs.jp))



## ■ 相談窓口 **無料&守秘!**

累計440件(2004~2012.11)

## ■ 海外アクセスルートの開拓

- ・2国間ワークショップ
- ・現地調査



インドネシアWS (2011)

## ■ 国際交渉への参加

- ・政府への助言(タスクフォース委員会)
- ・国際交渉における政府への支援



COP11 (2012.10)

# 本年度の活動

## 平成24年度環境対応技術開発等 (生物多様性総合対策事業)

### ■ 遺伝資源に円滑にアクセスできる環境の整備

- ・現地調査 ベトナム(12月16～21日)
- ・ABSに関する相談窓口の設置(面談、メール、電話:通年)
- ・ABSに関する情報の発信
  - 専用WEBサイト:通年(情報の整理と更新)
  - セミナー開催:7月(東京)、9月(大阪)、11/29(東京,沖縄)

### ■ 国際交渉の支援

- ・タスクフォース委員会の開催(6月、2月)
- ・国際ワークショップの開催(状況に応じて)
- ・国際交渉等への出席(ICNP-2:7月、COP11:10月)

# 専用WEBサイトの主な内容

(www.mabs.jp)

## ■ CBD関連国別情報

・各国法令と**日本語訳**

(参考: CBDのWEBサイト [www.cbd.int/abs/measures/](http://www.cbd.int/abs/measures/))

## ■ 資料室

Cop1~10すべての  
ABS会合を網羅

生物多様性条約、ボン・ガイドライン、名古屋議定書、  
遺伝資源へのアクセス手引、ABSパンフレット、**ABSアーカイブ**  
ABS 議論の推移、CBD関連国際会議報告、  
JBAのCBD/ABS関連発表資料・報告(過去セミナーの資料等)  
**委託事業報告書**(H15年～ 国際会議、セミナー、関係資料)

■ **リンク** 有用な関係ホームページへ

■ **コンタクト** 相談フォーム

# 委託事業報告書内容 (例:23年)

## ■ 本編 会議報告、セミナー報告等 資料編

会議報告和訳、  
各国法令、他の条約と  
専門家の考察、等

- 遺伝資源へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分に関する名古屋議定書に関するオープンエンド特別政府間委員会第1回(ICNP-1)会合報告書
- 名古屋議定書政府間委員会第2回(ICNP-2)会合に対する意見(EU):
- 遺伝資源へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分に関する名古屋議定書第10条に基づく地球規模の多国間利益配分の仕組み(GMBSM)について
- ICNP-2に対する意見(アフリカグループ): GMBSMの必要性及び態様(第10条)について
- ICNP-2に対する意見(国際商業会議所) GMBSM(名古屋議定書第10条)に対する経済界の見解
- 地球規模の多国間利益配分の仕組みに関する検討会合(ノルウェー会合)報告書
- 「パンデミックインフルエンザ事前対策:インフルエンザウイルスの共有とワクチンその他の便益へのアクセス」に関する加盟国オープンエンド作業部会報告書
- WIPO 遺伝資源等政府間委員会(IGC)における遺伝資源等に関する議論の動向～出口の見えない遺伝資源等の保護と知的財産との関係をめぐる国際交渉の現状～
- 生物多様性条約締約国の生物多様性関連法規制におけるABS 関連事項
- 深海底海洋遺伝資源へのアクセスと利益配分—生物多様性条約(CBD)と国連海洋法条約(UNCLOS)の検討から—
- 中国における無形文化遺産の保護に関する動向と留意点

# 生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 —生物多様性条約の課題—

(財)バイオインダストリー協会 生物資源総合研究所(監修)  
磯崎博司・炭田精造・渡辺順子・田上麻衣子・安藤勝彦(編)

生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS) の問題は、生物多様性条約 (CBD) の大きな論点の一つであるが、その内容が非常に複雑化しているため、その全容を理解するのは容易ではない。

本書は、CBDの基礎知識、CBD締結の経緯、ABS交渉の現状と課題、ABSに関する主要論点、国内外における取組、注目を集めたCOP10の結果と今後の課題など、企業や研究者が理解しておくべき内容をまとめたものである。

本書は、ABS問題に関する必読書である。

**2011年3月26日**  
**信山社より刊行(定価4,515円)**

